



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2016年

8月 第69号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2016~2017 年度主題

- 国際会長 Joan Wilson (カナダ) "Our Future Begins Today." 「私たちの未来は、今日より始まる」
 アジア会長 Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 利根川 恵子 (川越クラブ) 「明日に向かって、今日動こう」
 あずさ部部長 浅羽 俊一郎 (東京山手クラブ) 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
 クラブ会長 森本俊子 「長野クラブオリジナルの活動を膨らませよう」



今月の聖句 (偶数月) 仏句 (奇数月)

何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。
不平を言わずにもてなし合いなさい。<ペトロの手紙 4 章 8~9 節>

8月 例会案内

日時 2016年8月28日 (日)

会場 長野県栄村 PM 16:00~

1. 開会点鐘 会長 森本俊子
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 会長あいさつ 森本俊子会長
4. ビジター・ゲスト紹介
5. 報告など
6. 卓話「私とワイズの活動」
7. 自由トーク
8. ワイズディナー
9. 山の歌 など
10. 閉会点鐘

会長 森本俊子

「長野クラブ独自の活動を！」会長 森本俊子
残暑お見舞い申し上げます。

私の家のすぐ近くに吉田神社がありますが、今年は「チゴハヤブサ」という猛禽類の鳥が巣を作りました。小学生のラジオ体操に出かけてみると、境内は数人のカメラマンで賑わっています。聞けば、静岡から、東京の多摩から、須坂からなどと、高倍率レンズを携えて熱心に撮影しています。ネット情報で集まってきたのです。

近所の人も自分のカメラで撮影開始。やってきたカメラマンとの情報交換開始。体操組の我々も、いつもやってくる鳩の群れがいらないのに気付く。そういえば、ムクドリもスズメもいないね。ムクドリは隣の N さんの家に移動したらしい。そんな風な話はアナログで伝わっていきます。

さて、長野クラブの活動はどうやって広がっていくのでしょうか。ここは当面アナログで広げていきたいものです。直接会って思いのたけを話してみたいものです。例会でお会いできなかったら別の機会を作りたいと思います。

クラブ会費の振込をお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。今年度会費 (7~12~6 月分) がまだの方、18,000 円×2 のお振り込みをお早めにお願ひします。(手数料は各自負担にて) (会計 倉石美津子)

八十二銀行 昭和通営業部(店番号 214)

普通預金 口座番号 8711118

長野ワイズメンズクラブ会計 倉石美津子

例会のご案内

とき 毎月第3水曜日
18:30~20:30
9月21日(水)

ところ レストラン「やま」

連絡先 会長または書記へ
tokoton921@gmail.com (会長)
f69a9n@bmbiglobe.ne.jp (書記)

今月は 小林美彦 19日



7月データ

在籍会員	13名
例会出席者	8名 (メイキャップ・メネット含む)
ビジター	5名
合計	13名

7月キックオフ例会報告

7月21日(水) 6時半から レストランやまにて
出席 倉石、小林(美)、小林メネ、塩入、福島、水崎、森本、
渡辺

ビジター 浅羽あずさ部長、小山書記、長津 LT 委員、小山
区事務所員、
山口東京武蔵野多摩クラブ会長



昨年度の事業、会計報告のあと、公式訪問の浅羽部長の卓話があった。海外生活の長かった幼少期の体験や、野尻学荘での集団生活体験、その後YMCA勤務に始まり国連難民高等弁務官事務所での勤務を経て今、ワイズ活動に心血を注いでおられることが語られた。



ワイズディナーに換えて、「やま」の屋上ビアガーデンにてビールやワインを飲みながら親睦を図った。山口会長が、江夏長野クラブ会員が東京武蔵野多摩クラブの例会に来てくださったこと、卓話もお願いしたことなどを話してくださり、長野への例会にはなかなか来ていただけない江夏ワイズが、仕事場からそう遠くない武蔵野多摩クラブへ時々出てくだされば嬉しいね、とみなで話し合った。

8月は11日に、福島ワイズがかかわる「平和の架け橋 in 長野」に協力することにして17日の例会はなくして、28日に栄村で特別例会をすることを確認した。

長野大会の折メネット委員会の歓迎挨拶など担当した小林メネットが、正式にメネット委員会の会員としての依頼をされました。先日東京で行われた会合にも参加されましたので、報告します。

メネットの可能性

小林晶子

7月30日に日本YMCA同盟会館におきまして、2016-2017年度東日本区の第1回メネット委員会に出席してまいりました。

利根川理事から委嘱状をいただき、また諸先輩方からメネットの歴史をお聞きし、和やかな中にも身の引き締まる思いをいたしました。

今年度のメネット委員会のテーマは、『継げ！メネットのねがい 清く 楽しく 美しく』で、沼津クラブの相磯優子委員長の元で、活動内容や継続検討課題について活発に意見が交わされました。

私は昨秋の熱海での【メネットの集い】に初参加をさせていただいたことが、Y'sの活動がどういうものなのかを知る大きなきっかけとなりました。それを皮切りに他のクラブの方々との交流の楽しさも知り、6月の長野大会では

笑顔で全国の皆様をお迎えすることが出来ました。

自分の中でそんな特別な思いもあり、メネット委員会では微力ながら何かお手伝いが出来ればと思っています。

時代が大きく変わっていく中で、メネットの在り方も当然変わっていきますね。また一方で、メネットだからこそ続ける、出来る活動もあります。

これからは、メネットの存在意義の有無や活動はこうあるべきと決めつけずに、柔軟に考え対応して、将来のメンとメネットの新しいパートナーシップを探っていければと感じました。

いろいろ考えたら、なんだか楽しくなってきました！
今年度のメネット委員会にぜひご期待ください。

仙洞田さんが右のメールを送ってくださいました。台湾の地震に対して長野クラブも見舞金を送りましたので、それに対する感謝状を渡辺隆直前理事が代わりに受け取ってくださったというものです。



長野クラブの皆様

連日猛暑が続いていますが、いかがお過ごしですか?さて、今、台北でワイズの国際大会が開かれています。小林さんのご息もユースコンボーションに参加しています。甲府クラブから渡辺直前理事が参加していますが、渡辺さんからメールがきまして、台南地震の際に長野クラブから支援金を戴いた事に対して、台湾区から感謝状を戴いたそうです。次の例会に出席する際に、お届けします。

仙洞田安宏



★台北、国際大会会場。渡辺隆直前理事と小林太地君

8月11日に長野市のボランティアセンターで行われた「平和の架け橋in長野」という催しは無事成功裏に終わりました。長野クラブとしても支援金2万円を井上弘子理事長に贈りました。この2万円は長野大会の折、会場として玄証院をお借りした謝礼にお渡ししたものを、玄証院住職福島ワイズが長野クラブに寄付してくださったものです。このイベントのまとめとして、福島ワイズが、最新のレポートを寄せてくれました。

平和の架け橋IN長野 福島貴和

認定NPO法人・聖地のこどもを支える会主催の本プロジェクトは、長野ワイズメンズクラブをはじめ、多くのボランティアグループの協力をいただき、成功裏に無事終了いたしました。有り難うございました。平和の架け橋プロジェクトは、長野では8月5日から12日まで、東京のジャイカでは12日より17日まで行われました。



16日には、本プロジェクトの総括である報告会が催され出席いたしました。5日に成田に着いた時に初めて会った戦争当事国の若者たちが、わずか2週間足らずで、互いを認め合うとこまで行くのだろうか、毎年の事とはいえ心配なところでした。2年前は、まさにロケット砲が飛び交う中でのプロジェクト開催でした。案の定、ぎくしゃくした関係は、修復されませんでした。

今年はどうか。私の感想は、やはり長野の環境が良かった。砂漠の民である若者たちが、緑の大自然の中で、それに輪をかけて、善光寺が醸し出す雰囲気、互いの心を打ち解け合やす契機となったことは明らかでした。若者たちは口々に長野の緑、それに長野の善光寺文化の素晴らしさを語ってくれました。ある若者は、イスラエルでは平和という言葉さえ口に出せないのに、今では平気で言えるようになったと言いました。戦争状態の国に帰って、今のような気分ではないでしょうが、近

い将来、本プロジェクトに参加した若者の中から、平和が当たり前のように語られる、本プロジェクトの目的が達せられるでしょう。

私にとっては恐ろしいことではありますが、また、来年長野で本プロジェクトが行われることが決まりましたら、長野ワイズメンズクラブ会員の皆様のお知恵を拝借して、世界平和の実現に邁進したいと考えております。宜しくお願いいたします。



聖地の会の理事長、井上弘子さんが、本会の資金等の援助に対して、心からのお礼を述べておりました事を付記いたします。有り難うございました。



写真は「浜辺の歌」や「さくら」など日本の歌も含めてメンバー全員で歌ったり、「ソーラン踊り」を踊ったり、元気なステージを繰り広げてくれたイスラエル、パレスチナの青年たち。★彼らの日常の御馳走をボランティアセンターの調理室で作ってふるまってくれたお料理の一つ。名前はわかりませんが、どれもみなおいしかったです。

井上理事長に森本会長から支援金を贈りエールを送りました。

★彼らの演奏のほかに、長野のアカペラグループ「カン



トキアラ」やゴスペルの「スパークリングジョイ」と「ハンドベルアンサンブル長野」も出演し集まった100人余りのお客さんとともに音楽交流をしました。